

のアルバム

大会新記録おめでとう

▼ 11月17日 市役所

第15回全国障害者スポーツ大会（紀の国わかやま大会 10月24日～26日開催）に出場し、水泳競技の自由形で金メダル（50m31秒09）、背泳ぎで銀メダル（25m16秒49）を受賞した福井香澄さん（小篠原）が大会結果を市長に報告しました。

いずれも大会新記録で、福井さんは、「練習の成果で思っていた以上のタイムで良かった」と話していました。

2020年に開催される東京パラリンピック競技大会への出場を目指してくださいと市長が激励しました。



▼ 11月10日 北部合同庁舎前



願いを込めて安全運転

J A おうみ富士中主地区センターが地域貢献活動として「古いも・若いも交通安全」をスローガンに交通安全街頭啓発を行いました。

この活動は、3年目となり中主幼稚園の5歳児が6月に植え10月に収穫したさつま芋と園児たちの願いを込めた交通安全メッセージをドライバーの皆さんに配布しました。

ドライバーの皆さん、安全運転をお願いします。

図書館まつり 2015 開催！

▼ 10月31日 野洲図書館

野洲図書館本館において図書館まつり2015が開催され、来場者は中学生姉妹ユニットによる絵本の読み聞かせライブや、普段は入れない書庫見学、安藤紳次さんによる野洲図書館の四季の写真展、オリジナルしおり作りなど、図書館ならではの企画を楽しみました。

また「本のカバーかけ講座」には家族連れも多く訪れ、司書やボランティアの助けを借りながら真剣な表情で自分の大事な本にコーティングシートを貼る姿が見られました。



Yuri × Meri (ゆりめり)
読み聞かせライブ

親子でカバー作り



歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

古い道具と昔の暮らし「こたつ」

博物館の収蔵品には、昔の生活文化を知ることのできる「民俗資料」があり、今回のテーマ展でも紹介しています。写真の資料は、冬の暖房具として用いられたこたつで、四角い木枠のやぐらを伴うことから、「やぐらごたつ」「置きごたつ」とも呼ばれていました。大きさは31cm四方、高さは27cmで、木枠の中に素焼きの火入れがあり、中に炭などを入れ、上から布団をかけ、手足を入れて暖めました。火が布団に燃え移らないよう内側の上下にブリキの板を張る工夫もされていて、掘りごたつと違って部屋へ持ち運びができる便利さがあります。こたつは、木枠を付けない円形や方形の瓦製のものもよくみられ、表面が熱くなるため布や紙を張っていました。

木枠のある置きごたつは、江戸時代に使われるようになったといわれています。その後、これが大きい家具調の電気ごたつへと改良されていったようで、布団の上に卓をのせる型は今日でもよく用いられています。私たちの暮らしの移り変わりを考えてみると、特に昭和30年代、今から50～60年ほど前は、生活様式がめまぐるしく変化した時代です。この写真は、野洲市の小学校3・4年生社会科副読本『わたしたちの野洲市』に掲載され、学習教材にもなっています。

テーマ展では、昔の道具や古い写真により、ちょっと昔のくらしや風景を紹介しています。昔を知る人には懐かしく、昔を知らない人にも地域のくらしを再発見できる機会になればと思います。(博物館学芸員 行俊勉)

■テーマ展「古い道具と昔のくらし」

12月1日(火)～1月31日(日)

【休館日：月曜日（祝日は開館）・12月24日・1月12日、年末年始12月28日～1月4日／市民は入館無料】



こたつ



住みよいまちに

祇王学区防災訓練は、妓王まちづくり推進協議会の防災防犯委員会と祇王小学校の合同で行いました。

始めに祇王小学校で引き渡し訓練の後、コミセンぎおうで起震車、煙中テント、AEDなどを体験し、不測の事態に子どもたちが慌てず敏速に判断できるよう毎年行っています。

起震車は震度8まで体験でき、子どもたちは大興奮でした。

▼10月31日 コミセンぎおう



100歳おめでと

100歳の誕生日を迎えた市木伊三郎さん(三上)を山仲市長がお祝いに訪問しました。

大正4年10月24日生まれの伊三郎さんは、毎日、新聞を見て過ごされています。

市内の100歳以上の男性は、2人となります。いつまでもお元気で。

▼10月30日 吉川

